



株主通信

第119期 報告書
2015.4.1 >>>> 2016.3.31

東洋鋼鈹株式会社

証券コード：5453

鉄から広がる無限大“∞”

当社の製品は私たちのくらしの身近なところで活躍しています。

“鉄”とともに歩み続けてきた東洋鋼鈑はこれまでさまざまな製品を世に送り出してきました。今日ではその伝統で培った、圧延、表面処理、ラミネートなどの技術をもとに“鉄”から“非鉄”や“樹脂”へと自らのフィールドを拡大しています。



日本で民間初のぶりきメーカー

その他材料

- 梱包資材用帯鋼
- 機械器具
- 硬質合金
- 自動車用プレス金型



射出成形機部品・混練押出機部品

缶用材料

- ラミネート鋼板
- ぶりき
- ティンフリースチール



食缶・インキ缶(ぶりき)

電気・電子部品材料 自動車・機械部品材料

- ニッケルめっき鋼板
- 電気垂鉛めっき鋼板
- 冷延鋼板



ハイブリッドカー用電池部品(角孔芯体材)

機能材料

- 磁気ディスク用アルミ基板
- 光学用機能フィルム



液晶テレビ、スマートフォン向けフィルム(光学用機能フィルム)

建築・家電用材料

- 樹脂化粧鋼板
- 銀鏡めっき金属板



ユニットバス壁材(ピニトッパ)



新中期経営計画 「TK WORKS 2018」が始動、 業績のV字回復を目指します。

代表取締役社長

隅田博彦

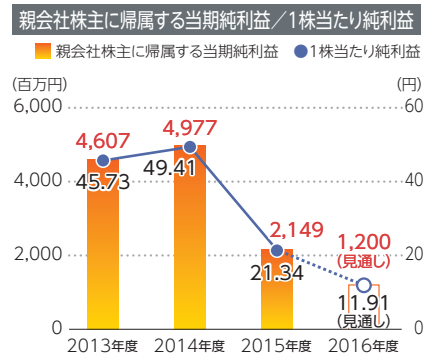
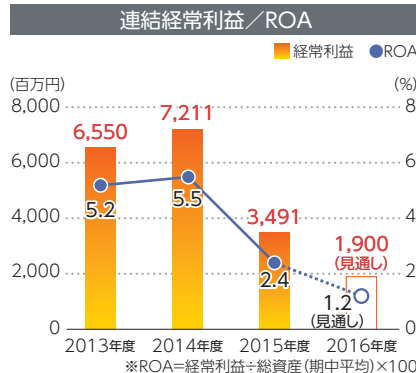
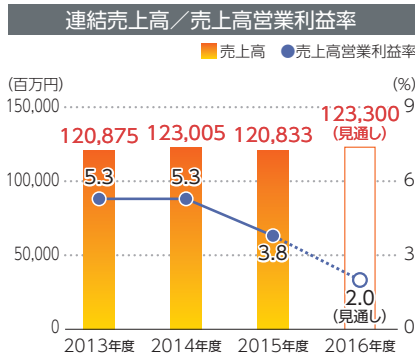
第119期報告書をお届けするにあたり、
代表取締役社長 隅田博彦へのインタビューを通して
当社グループの現状と今後の動向をご説明いたします。

Q 》 2016年3月期の経営成績について
ご解説ください。

A 》 残念ながら減収減益となりました。

鉄鋼業界では、国内需要の低迷が継続するなか、世界的な鋼材需給緩和や急激な為替変動の影響などもあり、厳しい事業環境が続きました。

このような状況下で当社グループにおきましては、積極的な新規販路の開拓などに努めましたが、鋼板関連事業および機能材料関連事業で販売数量が低迷したことなどから、連結経営成績は、売上高1,208億33百万円(前期比



1.8%減)、営業利益45億41百万円(前期比30.8%減)、経常利益34億91百万円(前期比51.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益21億49百万円(前期比56.8%減)という厳しい内容となりました。

鋼板関連事業では、コーヒー缶のアルミ素材へのシフトや、コンビニエンスストアのカウンターコーヒーの浸透を受け、缶用材料の販売数量が減少しました。

また、機能材料関連事業においては、世界的なパソコン・液晶テレビなどの需要減退といったように外部環境の悪化

が当初の想定よりも早まったことと、歩留まりおよび生産性の悪化などの当社に起因する問題が業績の低迷に繋がったと認識しています。これらを踏まえ、外部環境に左右されない強固な収益体質を作り上げることが、当社グループの喫緊の課題であると捉えています。

Q 》 中期経営計画「TK WORKS Beginning」の総括をお聞かせください。

A 》 **新中期経営計画へと繋がる成長戦略を、着実に推進しました。**

2年目まで順調に収益を確保してきた前中期経営計画「TK WORKS Beginning」ですが、残念ながら最終年度は収益目標の達成には至りませんでした。

しかしながら、当計画で掲げたグローバル市場への積極的参入、新規事業の創出といった新中期経営計画へと繋がる成長戦略は、着実に推進できたと考えています。具体的には、トルコの合併会社 トスヤル・トーヨー社における工場建設や、株式会社富士テクニカ宮津の連結子会社化、DNAチップを活用した遺伝子解析キットの開発などが挙げられます。



Q 》 新中期経営計画「TK WORKS 2018」
についてお聞かせください。

A 》 2年目以降、業績のV字回復を
目指します。

「TK WORKS 2018」の3ヶ年においては、初年度は引き続き厳しい事業環境が続くことが予想されますが、当社グループが直面する課題を克服し、2年目以降は成長戦略の実行を加速させることで、新中期経営計画の最終年度である2018年度には、売上高1,397億円、営業利益80億円、経常利益86億円、親会社株主に帰属する当期純利益63億円を達成することを目指します。

鋼板関連事業においては、当社独自の技術を活かしたラミネート材・表面処理材の機能性向上、適用分野の拡大に努めるほか、トスヤル・トーヨー社の工場を順調に立ち上げ、MENA(中東・北アフリカ)などの成長市場への展開を進めます。

機能材料関連事業においては、徹底した生産プロセスの改善に取り組み、コストダウンを進めるとともに、品質レベルの向上を図ります。

このほかにも、2015年度第4四半期より連結子会社化した株式会社富士テクニカ宮津が保有する技術や知見を活かして自動車産業界への事業展開を強化するほか、DNAチップの事業化を足掛かりにライフサイエンス分野への事業展開を推進します。



Q 》 株主の皆さまへメッセージを
お願いいたします。

A 》 新中期経営計画にご注目ください。

前中期経営計画は、残念ながら最終年度の収益目標を達成することができませんでした。株主の皆さまのご期待にお応えすることができず、誠に申し訳ございませんでした。

新中期経営計画では、既存事業の収益性の改善により経営基盤の強化を図るとともに、これまでの投資のリターンを着実に確保し、業績のV字回復を目指してまいります。

なお、当期末の配当金につきましては、1株当たり6円とさせていただきます。中間配当金と合わせ、年間配当金は11円となります。2016年度につきましては、中間と期末でそれぞれ5円ずつの1株当たり10円の配当を予定しております。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

「TK WORKS 2018」

当社グループは、スチールを核としつつ、独自技術により新しいビジネスモデルを構築し、有益な価値を創造しながら成長を続ける企業を目指しています。

2016年度から2018年度までの3ヶ年の中期経営計画「TK WORKS 2018」を次のとおり策定いたしました。

基本方針

- 既存事業の収益性の改善により経営基盤の強化を図り、V字回復を達成
- 前中期経営計画における投資のリターンを確保するとともに、成長戦略であるグローバル市場への更なる事業展開と研究開発の強化により、新規事業の創出を継続して推進
- 東洋製罐グループ各社との一層の連携強化により、事業領域の拡大を図ることで、グループ全体の企業価値向上に貢献
- 事業環境の変化に柔軟に対応し、新たな価値を創造する人材の育成

推進項目

鋼板関連事業

- トスヤル・トーヨー社の確実な立ち上げと早期収益確保
- 原材料コストダウン、製造原価低減活動の強化
- 競争力のある表面処理製品の世界市場投入
- 車載用二次電池需要増に対応した生産能力増強

機械関連事業

- 海外展開を中心とした機器事業の拡大
- 富士テクニカ宮津とのシナジー実現

機能材料関連事業

【磁気ディスク事業】

- 独自技術開発による品質優位性の確立
- 生産プロセスの改善によるコストダウン推進

【フィルム事業】

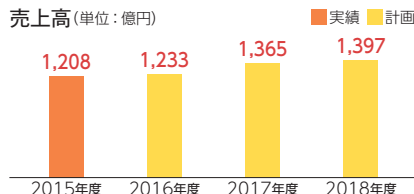
- コスト競争力向上によるシェア拡大
- 現場改善活動による生産体制強化

新規事業

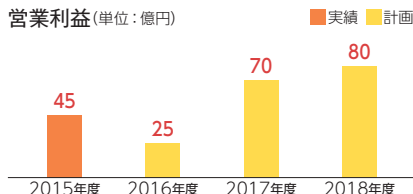
- DNAチップ事業の早期事業化

3ヶ年損益目標(連結)

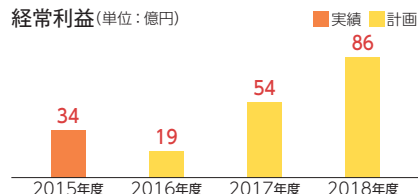
売上高(単位:億円)



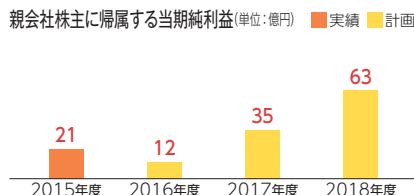
営業利益(単位:億円)



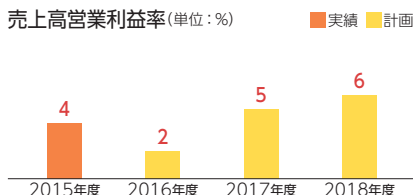
経常利益(単位:億円)



親会社株主に帰属する当期純利益(単位:億円)



売上高営業利益率(単位:%)



セグメント別数値目標

	2018年度目標	売上高	営業利益
鋼板関連事業		833	22
機能材料関連事業		291	38
機械関連事業		273	20
合計		1,397	80

特集

DNAチップ基板を活用した遺伝子解析キットのご紹介



今回は、「やまぐち産業戦略研究開発等補助金」の支援を受け、山口大学との共同研究をもとに開発した、女性に適した健康情報を提供する遺伝子解析キットをご紹介します。

女性の健康増進に特化したこのキットを用いることで、食欲、太りやすさ(基礎代謝)、カフェイン代謝、体力、メタボリックシンドローム、乳房ケア、糖代謝、血圧などに関わる12種類の遺伝子型情報を解析することが可能となります。

女性の健康増進に有用な遺伝子解析キット



【検査サービスについて】

(2016年度よりサービス開始)

当社の遺伝子解析キットを用い、お客様から送られた唾液サンプルを検査^{*1}、その解析結果から、健康に役立つ情報^{*2}をお客様へお届けするサービスです。

※1 遺伝子解析は生物科学安全研究所で実施

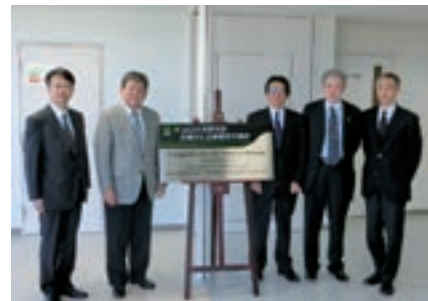
※2 株式会社プラケアジェネティクス殿より提供

東洋鋼鈹の表面処理技術を活かしたDNAチップ基板により、簡便に高精度な測定が可能になります

TOPICS

当社の寄附によって、山口大学医学部に「先端がん治療開発学講座」が開設されました。

DNAチップ事業の早期事業化への取り組みを加速するとともに、医療の発展に貢献してまいります。



開設の様子(2016年4月19日)

お知らせ

株式会社富士テクニカ宮津に対し公開買付けを実施しました。

当社は、国内外の自動車メーカーへの自動車車体用プレス金型の製造販売を営む株式会社富士テクニカ宮津を完全子会社化することを目的とし、同社の普通株式の公開買付けを実施しました。(第一回公開買付け期間:平成28年1月7日~2月4日、第二回公開買付け期間:2月24日~4月6日)

第一回公開買付けの結果、当社は平成28年2月12日付で当社の連結子会社となりました。

当期のポイント

POINT

● 売上高 (前期比)	120,833 百万円 1.8% 減
● 営業利益 (前期比)	4,541 百万円 30.8% 減
● 経常利益 (前期比)	3,491 百万円 51.6% 減
● 親会社株主に帰属 する当期純利益 (前期比)	2,149 百万円 56.8% 減

- POINT ①** 鋼板関連事業は、飲料缶材の販売数量が減少したことなどにより、減収減益
- POINT ②** 機能材料関連事業は、磁気ディスク用アルミ基板の販売数量が減少したことなどにより、減収減益
- POINT ③** その他事業は、第4四半期連結会計期間より株式会社富士テクニカ宮津を連結子会社化したことも寄与し、増収増益

セグメント情報

SEGMENT INFORMATION

鋼板関連事業

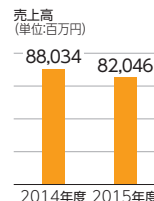


事業内容

缶用材料、電気・電子部品、自動車・産業機械部品、建築・家電向け材料の製造および販売

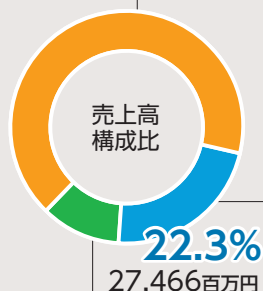
事業の概況

- 缶用材料は、缶コーヒー用途の飲料缶材の販売数量が減少したことなどにより、減収。
- 電気・電子部品向けは、民生用電池用途の販売数量が減少したことなどにより、減収。
- 自動車・産業機械部品向けは、ガasket用途などが低迷し、減収。
- 建築・家電向けは、ユニットバス用内装材および建築用外装材の一部で販売数量が減少したことなどにより、減収。



66.6%

82,046百万円



22.3%

27,466百万円

11.1%

13,699百万円

機能材料関連事業

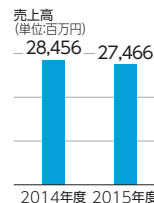


事業内容

磁気ディスク用アルミ基板、光学用機能フィルムの製造および販売

事業の概況

- 磁気ディスク用アルミ基板は、販売数量が減少したものの、為替の影響などにより、増収。
- 光学用機能フィルムは、フラットパネルディスプレイ関連の市場の調整局面が続いたことなどにより、減収。



その他事業



事業内容

梱包資材用帯鋼、機械器具、硬質合金、自動車用プレス金型の製造および販売

事業の概況

- 梱包資材用帯鋼は、販売数量が減少し、減収。
- 機械器具は、装置部品の販売が好調に推移し、売上高は前期並み。
- 硬質合金は、射出成形機部品の販売数量が増加したことにより、増収。



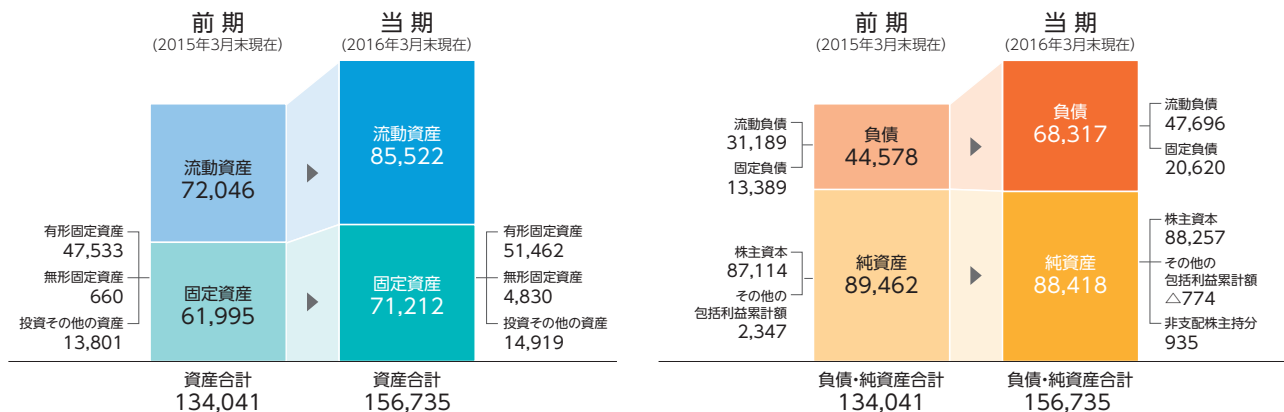
※各セグメントの売上高はセグメント間の取引による金額を含んでおります。

※2016年度より、報告セグメントを「その他事業」から「機械関連事業」に変更いたします。

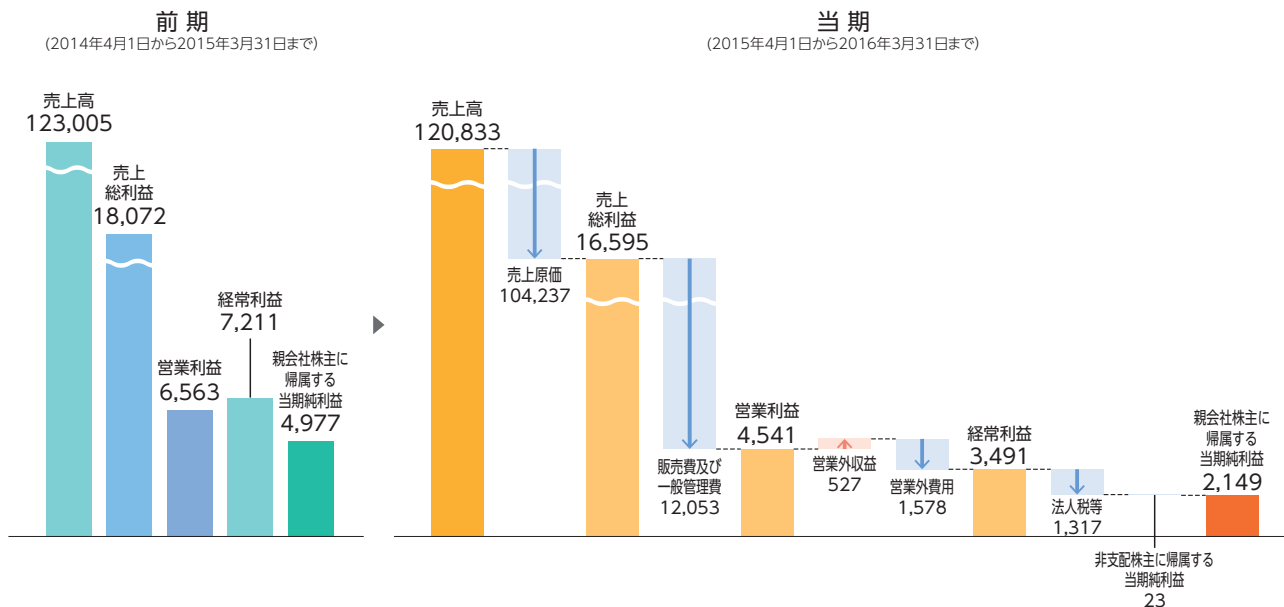
連結財務諸表

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENT

財務状況 (単位: 百万円)



経営成績 (単位: 百万円)



株主さまの声

第119期中間報告書において、株主の皆さまにアンケートをお願いしましたところ、302名の方からご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。一部ではございますが、株主の皆さまからのご意見・ご感想を紹介させていただきます。



建設中の様子



工場の外観

トルコの合併会社の現状を知りたい(山口県 40代男性)

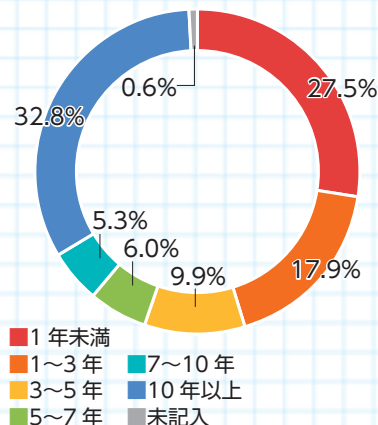
▶▶▶ 現地では、2016年後半の稼働に向け工場建設のピークを迎えています。屋根・壁の設置は完成に近づき、生産設備の据付けを進めています。操業に備え、昨年秋から今春にかけて、現地で雇用したトルコ人技術者に対し、下松事業所において技術研修も行ってきました。事業開始に向け、引き続き邁進してまいります。

● 工場の概要

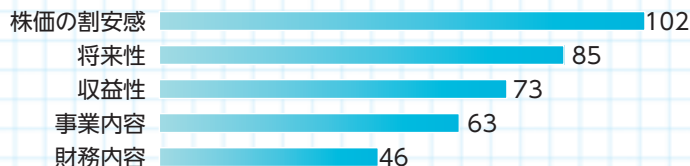
- 生産品目** 冷延鋼板、錫めっき鋼板、溶融亜鉛めっき鋼板、塗装鋼板
- 生産能力** 82万t/年
- 主要設備** 酸洗/冷延、焼鈍、電気錫めっき、溶融亜鉛めっき、塗装等
- 立地** トルコ共和国オスマニエ県
オスマニエ工業団地

アンケート集計結果

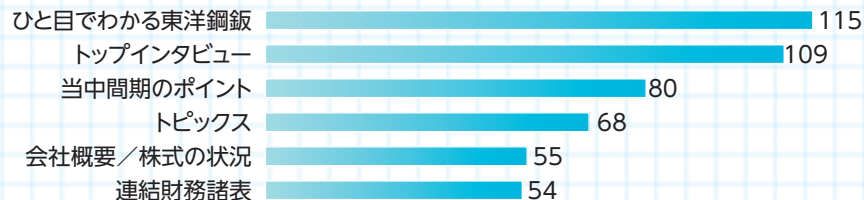
● 当社株式の保有年数



● 当社の株式を購入された理由はなんでしょうか？(複数回答可)



● 第119期中間報告書に興味を持った記事はどれでしょうか？(複数回答可)



会社概要／株式の状況

(2016年3月31日現在)

CORPORATE PROFILE & STOCK INFORMATION

会社の概況

商号 東洋鋼鋳株式会社
 本社 東京都千代田区四番町2番地12
 設立 1934年4月11日
 資本金 50億4,000万円
 従業員数 2,804名(連結)
 事業所 本社(東京都)、大阪支店、仙台営業所、名古屋営業所、
 広島営業所、福岡営業所、技術研究所(山口県下松市)、
 下松事業所(山口県下松市)

役員 (2016年6月24日現在)

代表取締役社長	隅田 博彦	監査役	冲中 一郎
取締役専務執行役員	宮地 正文	監査役	生田 章一
取締役専務執行役員	辰巳 英之	監査役	大川 邦夫
取締役常務執行役員	田辺 敏幸	専務執行役員	坂本 信夫
取締役常務執行役員	森賀 俊典	執行役員	藤井 孝司
取締役常務執行役員	中野 和則	執行役員	長谷川 浩
取締役	林 芳郎	執行役員	塩道 行正
取締役	染谷 良	執行役員	大楽 高嗣
取締役	毎田 知正	執行役員	清木 和浩
常勤監査役	浪岡 貞之	執行役員	中村 琢司

東洋鋼鋳グループ

連結子会社	鋼鋳商事株式会社 鋼鋳工業株式会社 KYテクノロジー株式会社 株式会社富士テクニカ宮津 TOYO-MEMORY TECHNOLOGY SDN. BHD. (マレーシア)
持分法適用関連会社	TOSYALI TOYO CELIK ANONIM SIRKETI (トルコ)
非連結子会社	11社
関連会社	6社

株式の状況

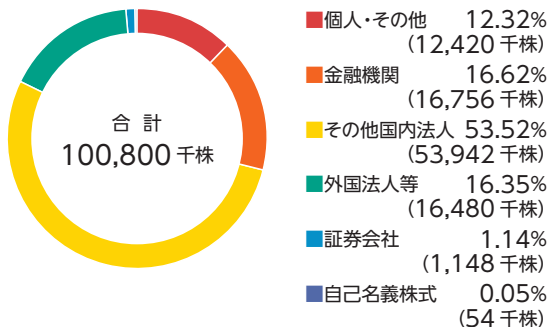
発行可能株式総数 403,200,000株
 発行済株式の総数 100,800,000株
 株主数 4,451名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東洋製罐グループホールディングス株式会社	47,885	47.53
株式会社三井住友銀行	2,980	2.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,579	2.56
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,154	2.14
公益財団法人 東洋食品研究所	2,055	2.04
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	2,053	2.04
株式会社淀川製鋼所	1,429	1.42
株式会社山口銀行	1,316	1.31
新日鐵住金株式会社	1,200	1.19
三井住友海上火災保険株式会社	1,176	1.17

(注) 1. 持株比率は自己株式を除いて計算しております。
 2. 千株未満は切り捨て、小数点以下第3位は四捨五入しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネット) (ホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/ agency/index.html
公告方法	電子公告 公告掲載 URL http://www.toyokohan.co.jp ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

お問合せ

証券口座で株式を保有している株主様	住所変更、買取請求その他お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
特別口座で株式を保有している株主様	住所変更、買取請求その他お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行株式会社)にお問合せください。

東洋鋼鋳株式会社

〒102-8447 東京都千代田区四番町2番地12
電話 (03) 5211-6211 (代表)
ホームページURL tkworks.jp



本冊子は環境保全のため
植物油インキで印刷しています。



ホームページのご案内

コーポレートサイト



当社のホームページでは、当社の製品を紹介する「身近な東洋鋼鋳」をはじめ、投資家の皆様向けのIR情報など、さまざまな情報を掲載しております。

tkworks.jp

IRサイト



IRサイトでは適時開示情報をはじめ、決算短信などの各種IR関連資料やIRトピックス、株価情報など最新の情報を提供しております。

[http://www.toyokohan.co.jp/
ja/ir/index.html](http://www.toyokohan.co.jp/ja/ir/index.html)